

すこやか通信

2018.6.15 No.28

先代理事長先生の生誕100年を迎えて

我が国では超長寿社会が到来し、「人生100年時代」が現実のものになるうとしています。通院されている高齢の患者さん達も皆さんお元気です。健康保険では、75歳で後期高齢者にされてしまいますが、80を越えてもまだまだ若い方も多い印象です。

当院の開設者（中村晃一先代理事長）は10年前に他界しました。生きていれば100歳であり、先日“生誕100年を祝う会”を院内で行い、大正7年からの本年までの100年を振り返りました。デモクラシーとロマンの大正時代には、ラジオ放送が始まり、関東大震災が起こりました。昭和初期は、帝国主義から戦争への道を歩みました。その後の激動の昭和は、敗戦から立ち直り、テレビ放送が始まり、昭和39年の東京オリンピックなどを契機に高度経済成長を成し遂げました。バブル経済の崩壊により経済が失速した平成時代も早いもので30年を迎えています。

この100年の進歩を、例えば鉄道でみると、写真①～④のようになります。



- ① 昭和 5年 特急『燕』東京～神戸間9時間（これ以前は11時間かかった）
- ② 昭和33年 特急こだま（東海道線全線電化）東京～大阪間6時間30分
- ③ 昭和39年 新幹線開業ひかり 東京～新大阪間3時間10分
- ④ 平成 4年 のぞみ 東京～新大阪間2時間30分

平成になってからは、電子機器の進歩により、技術の中心が“物”から“情報通信”に変化しました。この情報通信の変化の波について行くことが困難と感じる人も多いと思います。今後の100年はどうなるのか??そのようなことを考えながら“生誕100年”をお祝いしました。

【理念】

誠心を持って医業を行い、常に医術の向上をはかり、誠実に実行します。

【基本方針】

心暖まる医療・看護を目指し、患者さんの健康の回復に努力し、地域の住民の方々に奉仕します。これを誠実に実行することを我々の喜びと致します。

- ①地域の医院・診療所との連携を密にし、24時間診療体制をとっています。
- ②生活習慣病の予防及び地元企業に働く人々の健康管理に専門的な見地から寄与します。



在りし日の
中村晃一先生

写真で綴る 病院の様々な行事

春の病院行事を紹介いたします

先代理事長先生の 生誕 100 年を祝う会 (2月1日)

100年間の出来事などを振り返る、貴重な時間を過ごしました。



療養病棟のお花見 (3月25日)

今年はおつという間に桜が満開となりました。



草取り (5月18日)

梅雨の前に病院の周りの草取りをしました。



ボウリング大会 (5月22日)

楽しく賑やかな大会となりました。



カワノ 河野先生 顧問就任ご挨拶



草加市病院事業管理者
東京医科歯科大学名誉教授
カワノ
河野辰幸 先生

平成30年4月から顧問に就任しました。これまで、長期にわたり東京医科歯科大学の外科に所属しつつ当院の非常勤医師・常勤医師として働いてきました。この度、草加市の特別職である病院事業管理者に就任しましたので、中村病院においては顧問という役割をいただいた次第です。典型的な地域密着型で、急性期対応の高度医療を行いつつ療養期の患者さんにも対応し、地域包括ケアでも大きな役割を果たすこの病院の活動は、草加市立病院にも大いに役立つものであり、理事長／病院長の中村隆先生には草加市立病院の顧問に就任していただきました。公務員としての制約があり、できることは限られますが、中村病院における診療の質の更なる向上と一層の発展に多少とも貢献できればと思います。

院内研究発表会

3年ぶりに開催された院内研究発表会は、各部署から多数の参加があり、大変有意義な研究発表となりました。

今後もこの研究を通して学んだことを仕事に活かしていきたいと思えます。



演題

- うーご使用による有効性
～うーご君を導入し、その評価をするため～ …… 3F病棟
- 溶血検体が検査結果にどのように影響するのか? …… 検査科
- 地域包括病棟 ～意義と活動と今後～ …… 5F病棟
- 健診結果統計から見えてくること …… 医事課
- 表皮剥離防止目的による
スライディングボード使用についての評価 …… 4F病棟
- 地域連携型認知症医療センターとしての現状 …… 外来看護科
- 自宅退院と在宅不可の理由の考察 …… 医療連携室
- 理学療法士からみた嚥下評価 …… リハビリテーション科
- 看護師・介護職における腰痛の現状と
腰痛予防ストレッチを行ってみて …… 2F病棟
- 通院中の高齢者が、自宅でうまく
糖尿病のコントロールをしていくために …… DMチーム
- 誤薬防止の取り組み …… 5F病棟
- 医療被曝低減のための調査及び取り組み …… 放射線科
- スペラカーゼミートを用いた
食材の軟化効果について …… 栄養科

公開講座

認知症公開講座 2018 を開催致しました



平成30年2月4日(日) すみだ生涯学習センターにて“認知症公開講座 2018”が開催されました。

東京慈恵会医科大学の繁田雅弘先生には「今の認知症、以前の認知症とは違います」を、当院脳神経外科の中根一先生には「脳外科医から診た認知症患者と対応」をテーマにご講演頂きました。

休日にもかかわらず、地域の方々にも多数ご来場を頂き、認知症に関する理解を深めることができました。

当院は「地域連携型認知症疾患医療センター」として、患者さんとご家族とが、安心して生活出来る地域づくりに今後も努めてまいります。

●大谷木 正貴先生による ……

医療連携勉強会



5月29日、地域の先生方をお招きして、年2回行っている医療連携勉強会が開催されました。今回のテーマは“高齢者てんかんの最近の診療”で、当院の神経内科(月曜日担当)の大谷木 正貴先生が最新の知見を講演しました。医師会の先生方をはじめ多くの方々にご来院いただき、高齢者の運転事故も話題にのぼりました。

地域医療の要となる先生方と親睦を深め、医療連携を深めていくこの会も平成19年に開始されてから23回目になりました。今後もさらに内容の濃い勉強会に発展させていきたいと考えております。

普段の生活で以前より腰が曲がってきた、動作がぎこちないと思ったことはありませんか?もしかしたら骨粗鬆症になっているかもしれません。

骨粗鬆症とは、加齢やケガなどによって骨が弱くなりスカスカになっている状態です。

これを放っておくと骨折しやすくなり、場合によっては寝たきりになってしまう恐れがあります。骨粗鬆症を予防するためには、骨密度を測定して骨の状態を把握しましょう。

骨密度の検査は手のX線撮影をするだけです。検査時間は1分かからず、結果は当日お渡しすることができます。料金は420円(保険診療3割負担の場合。診察代金等は別途)です。一度、骨の健康診断をしてみても如何でしょうか?

ご興味ございましたら担当の先生にお気軽にご相談ください。

骨粗鬆症予防運動



- ①両方の踵を浮かして、つま先立ちになる
- ②踵へ体重をかける様に「トン」と踵をおろす。

この動作を1日30回程度繰り返すと骨の細胞が活性化され骨粗鬆症の予防につながるとされています。つま先立ちが不安定な方は、壁や椅子に捕まり気を付けながら行ってください。



めんつゆ DE 牛肉となすの青椒肉絲風

材料 (2人分)

- 牛小間肉 150g
- なす 150g
- ピーマン 100g
- A 醤油 大さじ1
- 酒 大さじ1
- 片栗粉 大さじ1
- ごま油 大さじ1
- いり白ごま 適量
- B めんつゆ 大さじ1.5
- 酒 大さじ1.5
- さとう 大さじ1.5
- オイスターソース 大さじ1.5
- しょうが 少々
- にんにく 少々

作り方

- ①牛小間肉にAの調味料を入れ揉み込む。
- ②なすは縦半分になり、それを斜め薄切りにする。ピーマンは斜め千切りにする。
- ③フライパンにごま油を中央で熱し、①、②を炒める。
- ④肉の色が変わり野菜がしんなりしたら、あらかじめ混ぜておいたBを加え、からめるように炒める。
- ⑤器に盛り、お好みでいり白ごまをふって完成。

お手軽にめんつゆを使い、なすも入れて青椒肉絲風に仕上げました。

医療法人社団仁寿会
救急・労災指定

中村病院



院長 中村 隆

●診療時間●
月曜～土曜

9:00～12:30
(受付8:00～12:00)

13:30～17:00
(受付13:00～16:30)

※水曜日のみ上記に加え

18:00～19:00
(受付17:50～19:00)

●診療科目●

- | | | |
|----------|-------|------------|
| 内科 | 外科 | 皮膚科 |
| 呼吸器内科 | 消化器外科 | 泌尿器科 |
| 循環器内科 | 肛門外科 | リハビリテーション科 |
| 胃腸内科 | 整形外科 | 麻酔科 |
| 神経内科 | 脳神経外科 | |
| ペインクリニック | 形成外科 | |

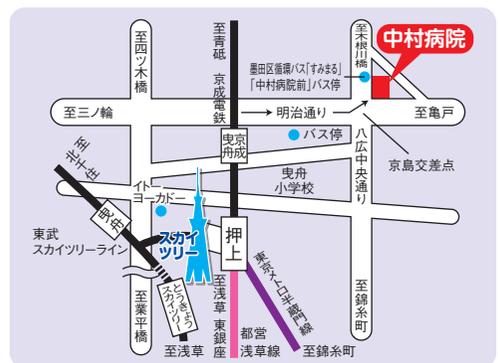
●休日診●日曜・祝日・創立記念日(3月1日)

※但し急患の場合は、随時受け付けます。

〒131-0041 墨田区八広2-1-1 TEL 3612-7131(代)

ホームページアドレス <http://www.jinjukai.or.jp/>

当院は日本医療機能評価機構認定病院です



編集後記

●幼少期に関東大震災(大正12年9月1日)を経験した先代理事長は、若き日を軍医として“生きて帰れぬニューギニア”戦線で苦勞したこともあり、いつも“震災などが起きた時に入院患者さんをどこに避難させたらいいのだろうか?”という心配をし、防災訓練・災害訓練に取り組んできました。(院長)

●歴史を振り返りながら、先人達の苦勞や知恵に学びたいと思います。(S)



昭和40年ごろの
災害救急の腕章など